

CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますよう  
お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ (<http://citizen.jp/>)でも操作説明がご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能 (計算尺、タキメーターなど) が搭載されて  
いるものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様に  
ご覧いただけます。

### 機種番号の見かた

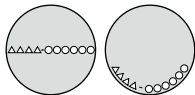
時計の裏ぶたに、アルファベットを含む 4 ケタと 6 ケタ  
以上からなる番号が刻印されています。(右図)

この番号を「側番号」といいます。

側番号の先頭の 4 ケタが機種番号になります。

右の例では「△△△△」が機種番号です。

### 刻印の位置の例






時計によって表示位置は  
異なります。



## 安全にお使いいただくために（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>危険</b>	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 <b>警告</b>	この表示の欄は、 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

## ご使用になる前に

### ■保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

### ■バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）。





バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

## ■特殊な構造のりゅうず / ボタンについて

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

### ねじロックりゅうず・ねじロックボタンの使い方

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック りゅうず	 <p>りゅうずが飛び出す まで、左に回す</p>	 <p>りゅうずを押し込 みながら右に回し、 しっかり締める</p>
ねじロック ボタン	 <p>ねじを左に回し、 止まるまでゆるめる</p>	 <p>ねじを右に回し、 しっかり締める</p>

## もくじ

商品の特長 .....	8
充電について .....	9
各部の名称 .....	10
時刻とカレンダーの合わせ方 .....	12
・時刻を合わせる手順	
・カレンダーを合わせる手順	
クロノグラフの使い方 .....	15
アラームの使い方 .....	19
充電量表示の見方 .....	21
充電時間の目安 .....	23
エコ・ドライブ特有の機能について .....	24
・充電警告機能	
・過充電防止機能	

---

タキメーター付きモデルの場合.....	27
オールリセットについて.....	28
・オールリセットの方法	
エコ・ドライブ取り扱い上の注意.....	30
防水性能について.....	32
お取り扱いに当たって.....	34
保証とアフターサービスについて.....	40
製品仕様.....	42
お問い合わせ窓口.....	44

## 商品の特長

この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるエコ・ドライブウォッチです。

搭載している機能には

- ・1 / 5 秒単位の計測で、最大 12 時間計測ができるクロノグラフ機能。
- ・12 時間制目安針方式で、セットした時間になると 20 秒間アラームが鳴るアラーム機能。(アラームの設定目安時間精度は± 5 分です。)
- ・充電量を 4 段階で表示する、充電量表示機能。

等を保有しています。

## 充電について

快適にご使用していただくためには、充電量表示針が「レベル3」になるまで必ず充電をしてください。

「充電時間の目安」を参照して、ソーラーセル（文字板面）に光を当てて充電してください。

一度充電完了すると、約8ヶ月間は充電しなくても、時計は動き続けます。

### 長期間ご使用にならない場合

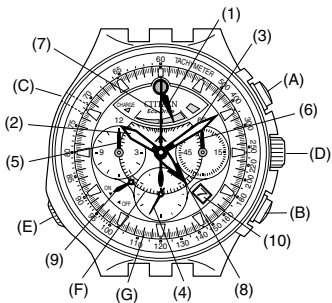
保管前に、必ず充電表示針が「レベル3」になるまで充電してから、保管してください。また、保管中もときどき充電してください。

## 各部の名称

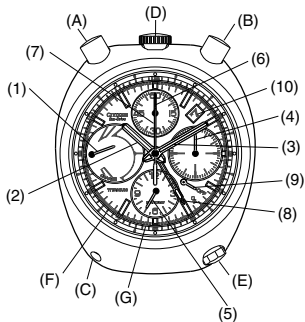
- ・この説明書は、リゅうずが 3 時位置にあるモデルで取り扱い方法等を説明しています。それ以外のモデルの場合は、リゅうずを 3 時位置に置き換えてお読みください。
- ・アラームの目盛は 10 分単位、クロノグラフの目盛は 1/5 秒単位となっています。

\*モデルによっては、デザインが異なります。

リゅうずが 3 時位置にあるモデル



リゅうずが 12 時位置にあるモデル

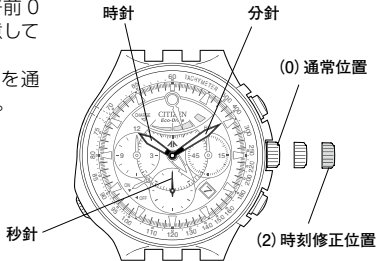


1.	充電量表示針
2.	時計
3.	分針
4.	秒針
5.	クロノグラフ時計
6.	クロノグラフ分針
7.	クロノグラフ秒針
8.	アラーム目安針
9.	アラーム針
10.	日
A.	(A) ボタン (スタート/ストップ)
B.	(B) ボタン (リセット)
C.	(C) ボタン
D.	リゅうず
E.	アラームリゅうず
F.	アラーム目盛
G.	クロノグラフ目盛

# 時刻とカレンダーの合わせ方

## 時刻を合わせる手順

1. 秒針が0秒を指しているときに、リューズを時刻修正位置（2段引き位置）に引き出します。
2. リューズを回して時刻を合わせます。
  - ・日が切り替わったときが、午前0時です。午前、午後に注意して時刻を合わせてください。
3. 時報等に合わせて、リューズを通常位置（0段位置）に戻します。

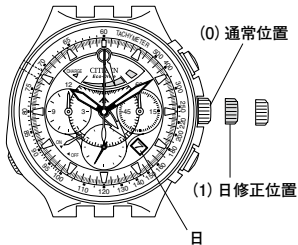


## 正確に合わせるポイント

合わせたい時刻よりも 4~5 分先に進め、分針を戻しながら合わせるとより正確に合わせることができます。

## ■ カレンダーを合わせる手順

- ・この時計は、フルオートカレンダーではありません。
- ・日は 31 日周期です。3 月、5 月、7 月、10 月、12 月の月初めには日を修正してください。



## 時刻とカレンダーの合わせ方

---

1. リ्यूズを日修正位置 (1 段引き位置) まで引き出します。
2. リ्यूズを左に回して、日を合わせてください。
  - ・右に回すと空回りします。
  - ・午後 9 時頃～午前 1 時頃を指している間は、日合わせを行わないでください。この間に日合わせを行うと、翌日になっても日が変わらないことがあります。
3. 日合わせが完了したら、リ्यूズを通常位置 (0 段位置) まで戻してください。
  - ・日は午前 0 時頃に自動的に切り替わります。
  - ・昼の 12 時に切り替わる場合は、時間を 12 時間進めてください。

## クロノグラフの使い方

- ・クロノグラフは、1 / 5 秒単位の計測で、最大 12 時間まで計測表示します。12 時間経過するとクロノグラフは自動的に停止します。
- ・計測を始めるときは、クロノグラフの各針が、12 時に戻っていることを確認してから計測を行ってください。12 時に戻ってない場合は、(B) ボタンを押して戻してください。
- ・(A) ボタンはクロノグラフの計測を始めたことをお知らせするため、最初のスタート時のみ押し力が幾分強めに設定されています。カチッと音がするまで確実に押してください。

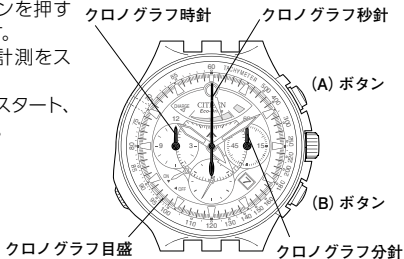
### 計測方法

- リセット状態で (A) ボタンを押すと、計測をスタートします。  
再度 (A) ボタンを押すと計測をストップします。  
・(A) ボタンは押すごとにスタート、ストップを繰り返します。



アラームリ्यूズを同時に押さないでください。

### 【クロノグラフリセット状態】



### 【注意】

(A) ボタンを押す際、アラームリ्यूズを同時に押さないようにご注意ください。リ्यूズが 12 時にあるモデルの場合は、特にご注意ください。

- ストップ後、(B) ボタンを押すと 0 秒にリセットされます。
  - 計測中に (B) ボタンを押してもリセットされません。計測値をリセットする場合は、(A) ボタンを押し計測をストップした後、(B) ボタンを押してください。
  - スタート、ストップ、再スタートをくり返し行くと、12 時間経過後、まれにクロノグラフの針が 12 時位置でズれることがあります。

## ■ 12 時間計測後、再度計測を始めるには

- 12 時間継続して計測をすると、自動的に計測が終了しクロノグラフ各針が 12 時で停止します。この場合は、0 にリセットされていないため、必ずリセット操作を行ってください。

## ■ リセットの手順

- (A) ボタンを押してストップ状態にします。
- (B) ボタンを押してリセットをします。
  - 12 時間計測後のリセットが完了され、(A) ボタンを押すと計測が開始されます。

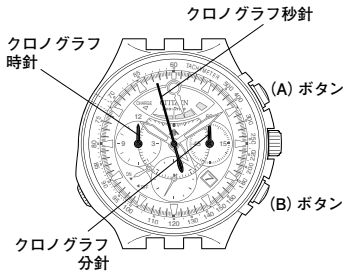
## クロノグラフの使い方

**【注意】** クロノグラフ計測中は、時計に強い衝撃を加えないでください。

クロノグラフ計測中や、12時間経過後自動的に停止した状態で強い衝撃等が加わると、クロノグラフの針がまれにズレることがあります。

その場合、前ページの手順でリセットしてください。この操作で、クロノグラフ各針のいずれかが12時に戻らない場合は、速やかに修理依頼をしてください。

**【クロノグラフ秒針が正しくリセットされていない状態】**

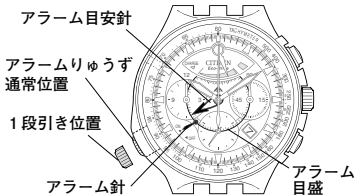


## アラームの使い方

- ・12時間制目安針方式のアラーム機能です。
- ・12時間制なので、午前、午後の2回、アラームが鳴ります。
- ・アラーム針が“ON”にセットされている場合は、セット時刻に到達するとアラームが20秒間鳴ります。
- ・目安針方式のため、アラームセット時刻に対して多少の誤差が生じます。セット時間は目安でお使いください。

### ■アラーム時刻のセット手順

1. アラームリ्यूーズを1段引きします。
2. アラームリ्यूーズを回して、アラーム時刻をセットします。
  - ・アラーム目安針を、設定したい時刻から30分ほど進めてから、戻すように合わせます。



## アラームの使い方

---

3. アラームリ्यूーズを通常位置に戻します。
4. アラームリ्यूーズを押し、アラーム針を“ON”にセットしてください。

### ■アラームの ON/OFF 切り替え

- ・アラームリ्यूーズを押し、押すごとに“ON”、“OFF”が切り替わります。

### ■アラームの鳴り止め

- ・アラームが鳴っているときに、アラームリ्यूーズを押し、アラームが止まります。同時にアラーム針が“OFF”に切り替わりますのでご注意ください。
- ・再度アラームを“ON”にセットする場合は、必ず20分経過してから行ってください。20分以内に“ON”に切り替えると、再度アラームが鳴ります。

## 充電量表示の見方

- ・ 充電量 (目安値) を 4 段階に分けて表示します。
- ・ 充電量表示針は各レベルの中央を示します。
- ・ 充電量表示は目安量を表示しています。お使いになる際は目安値としてご活用ください。通常はレベル 2 以上でお使いいただくことをお勧めいたします。
- ・ 充電完了からのレベル保持時間は、クロノグラフや、アラーム等の使用頻度によって異なります。









### 【注意】

充電量表示針が「CHARGE」を指すと、二次電池の容量がほとんどなくなり、秒針が 2 秒ごとに運針します。

約 7 日経過すると容量がなくなり、時計は停止します。この状態になる前に必ず充電してください。

## 充電量表示の見方

### 【二次電池充電量の見方】

レベル	レベル 3	レベル 2	レベル 1	CHARGE
充電量表示 3 時りゅうず				
12 時りゅうず				
持続時間 (目安値)	約 7 ヶ月～ 8 ヶ月	約 5 ヶ月～ 7 ヶ月	約 7 日～ 5 ヶ月	約 7 日
	充電完了レベル	安心してご使用 いただけるレベル	やや充電量が不 足するレベル。 (早めにレベル 3 になるまで充電 してください)	充電警告をお知 らせするレベル

## 充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間 (約)			
		1日動かすために必要な充電時間	止まり状態からレベル1 (1秒運針) までの充電時間	止まり状態からレベル2 までの充電時間	止まり状態からレベル3 (充電完了) までの充電時間
屋外 (晴天)	100,000	2分	25分	5.5時間	8.5時間
屋外 (曇天)	10,000	11分	2時間	30時間	45時間
30W 蛍光灯の20cm下	3,000	35分	6時間	100時間	150時間
屋内照明	500	3.5時間	40時間	—	—

## エコ・ドライブ特有の機能について

通常運針から充電警告表示に切り替わった場合は、必ず充電量表示針が「レベル3」を指すまで「充電時間の目安」を参照し、光を当てて充電してください。

【通常時刻表示】



【充電警告表示】

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わります

光が当たらず  
充電不足に  
なると

光を当て充電し  
ていくと



充電が不十分の時は2秒  
運針が続きます

充電量表示針がレベル3を指すまで（秒針が1秒運針に戻ります）  
光を当て充電を行なってください。

【停止状態】

すべての針が停止します

充電せずそのまま  
時計を約7日間  
使用し続けると



【注意】

時計が停止した場合は、光を当ててもすぐには動きません。最短でも10分を要します。

### ■充電警告機能

秒針が1秒運針から2秒運針に切り替わり充電不足になったことをお知らせする機能です。すぐに充電してください。

なお、この状態では、クロノグラフ及び、アラームは動きません。

### ■過充電防止機能

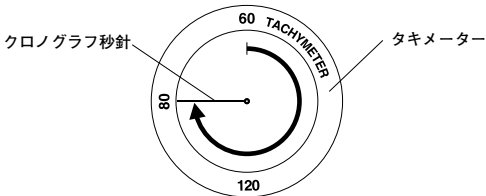
文字板（ソーラーセル面）に光が当たり、二次電池が充電完了になると、それ以上は充電されないように、自動的に過充電防止機能が働きます。どんなに充電しても二次電池や、時計精度、機能、性能等に影響を及ぼすことはありません。

## タキメーター付きモデルの場合

タキメーターとは、自動車などの走行時速を測る機能のことです。  
この時計の場合、1kmを何秒（測定可能範囲 60 秒以内）で走ったかにより、  
およそのその区間の平均時速が測れます。

測定開始と同時にクロノグラフをスタートさせます。1km 走行したときに  
クロノグラフを止め、そのときの秒位置でその区間のおおよその平均時速が  
分かります。

1km を 45 秒で走ったとすると、その区間の平均時速約 80km です。



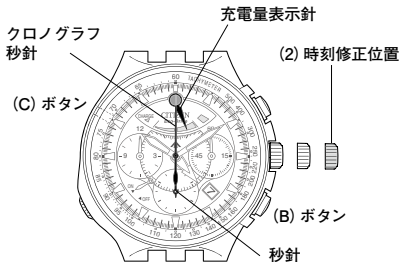
## オールリセットについて

- ・静電気や磁気および、強い衝撃等を受けると時間がずれる場合があります。このような場合には、オールリセットを行ってください。
- ・オールリセットを行う前に必ず充電し、充電量表示針が「レベル 2」以上を指していることと、クロノグラフがリセット状態になっていることを確認してください。

### ■オールリセットの方法

1. 秒針が 0 秒を指しているときに、リゅうずを時刻修正位置 (2 段引き位置) に引き出します。
2. (B) ボタンと (C) ボタンを同時に押します。
  - ・アラームが鳴り、充電量表示針が「レベル 3」に移動し、基準位置合わせを自動的に行います。
3. リゅうずを通常位置に戻します。
  - ・充電量表示針が往復運動を行い、秒針が 1 秒運針をはじめます。
  - ・各操作手順に従い時刻、アラーム等を正しくセットし直してご使用ください。
  - ・オールリセットができない場合は、修理を依頼してください。

【オールリセット完了状態】



## エコ・ドライブ取り扱い上の注意

時計は常に充電を心がけてお使いください

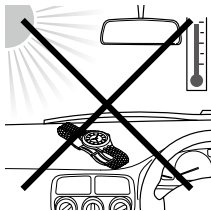
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

### ⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例)

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電  
※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温または低温になりやすい場所での充電



## 《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。  
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。

### **警告** 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。  
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。  
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

### **警告** 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。  
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

## 防水性能について







### 警告 防水性能について

- ・ 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1bar は約 1 気圧に相当します)
- ・ WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- ・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・ 日常生活用防水時計 (3 気圧防水) は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様	
	文字板または裏ぶた		
非防水時計	—	非防水	
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3 気圧防水	
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5 気圧防水	
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水	

- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンドайビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

## 使用例

 <p>水がかかる程度 の使用。（洗顔、 雨など）</p>	 <p>水仕事や一般 水泳に使用。</p>	 <p>スキンドайビング、 マリンスポーツに 使用。</p>	 <p>空気ボンベを使 用するスキューバ 潜水に使用。</p>	 <p>ヘリウムガスを使 用する飽和潜水 に使用。</p>	 <p>ぬれたままのりゅ うずやボタンの 操作。</p>
×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×
○	○	×	×	×	×
○	○	○	×	×	×

## お取り扱いにあたって

### ⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

### ⚠ 注意 使用上の注意

- ・ リゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。リゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままリゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、リゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

## ⚠ 注意 使用上の注意

### <バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質（化粧品など）が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

## お取り扱いにあたって

---

- ・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
- ・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- ・お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

### <温度について>

- ・極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

### <磁気について>

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

### <ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

### <静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれら含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレンジング剤・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

### <保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

### **注意** 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

## 時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

### 夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- ・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

## 保証とアフターサービスについて

### <保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

### <修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

### <修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

### <ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

### <定期点検（有償）について>

- ・防水性能について  
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2～3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。
- ・分解掃除（内装修理）について  
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

### <修理について>

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

### <その他お問い合わせについて>

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

## 製品仕様

機種：E 21\*

型式：アナログソーラーパワーウォッチ

時間精度：平均月差± 15 秒 (常温+ 5℃～+ 35℃携帯時)

水晶振動子：32,768Hz

作動温度範囲：・ 時計の作動温度範囲：- 10℃～+ 60℃

・ クロノグラフの作動温度範囲：0℃～+ 60℃

表示機能：・ 時刻：時、分、秒

・ カレンダー：日 (早修正機能付き)

付加機能：・ クロノグラフ (1 / 5 秒単位で最大 12 時間まで計測表示)

・ アラーム (12 時間制日安針方式)

アラーム鳴り時間 20 秒

アラームの設定日安時間精度：± 5 分

・ 充電量表示 (4 段階の扇型表示)

・ 充電警告機能 (2 秒運針)

・ 過充電防止機能

持続時間：・充電完了後、充電しないで時計が停止するまで：  
約 8 ヶ月(アラームやクロノグラフ等の使用頻度によって、  
持続時間が異なってきます)  
・2秒運針～時計が停止するまで：約 7 日

使用電池：二次電池 (ボタン型リチウム電池) 1 個

\*製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

<http://citizen.jp/>